

# べっぴ 市議会だより

2020.11.1

No.152



別府公園の竹林と紅葉

## CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5 予算決算特別委員会（令和元年度決算認定審査）意見書
- P 6~11 一般質問（14名が市政を問う）
- P12 防災訓練、編集後記 ほか

# 第3回定例会では31の議案を可決！

令和2年 第3回定例会

9月1日から25日までの25日間にわたり開催された今定例会では、予算関係5件、条例関係5件、その他10件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、人事案件7件、さらに議会より、議員提出議案3件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、「朝日出張所移転に関する市の方針」「新型コロナウイルス感染症緊急対策の取り組み状況」等について報告がありました。

「一般会計補正予算」「別府市出張所設置条例の一部改正」「動産の取得」等の関連議案については、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決におきましては、一部議員から反対する旨の意思表示がありましたがいずれも賛成多数で原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

## ～主な議案の概要～

### ●一般会計補正予算(第6号) 9月定例会 ※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

**基金積立金**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2400万円

新型コロナウイルス感染症対策として寄附された寄附金を、「新型コロナウイルス感染症対策おもいやり基金」に積み立てます。

**朝日出張所事務に要する経費**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 821万円

J Aべっぶ日出朝日出張所の建物取り壊しに伴い、同建物の一部を賃借している別府市朝日出張所を朝日大平山地区公民館内へ移転します。

**予防接種に要する経費**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1474万円

ロタウイルス胃腸炎の発症や重症化並びにまん延を予防することを目的に、本年10月からロタウイルス感染症予防接種を定期接種化します。

**災害復旧に要する経費(農地農業用施設)**・・・・・・・・・・・・・・・・ 2575万円

**災害復旧に要する経費(公共土木施設)**・・・・・・・・・・・・・・・・ 1400万円

7月豪雨により被災した施設の災害復旧を実施します。

**市民ホールに要する経費 外**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億685万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、指定管理者制度導入施設の利用料金に減少が生じたため、危険分担として市が負担するものです。

### ●条例の一部改正

#### 別府市出張所設置条例の一部改正について

朝日出張所を移転することに伴い、条例を改正しようとするものです。

#### 別府市指定居宅介護支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

介護保険法の規定に基づき条例を定めるに当たり、従うべき基準等を定める厚生省令の一部が改正されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

### ●その他

#### 動産の取得について

G I G Aスクール構想を進めるため、小学校及び中学校の児童・生徒に対し、1人1台の学習用タブレット端末を購入します。



## 第3回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第103号	令和2年度別府市一般会計補正予算（第6号）	原案可決 (賛成多数)	議第120号	令和元年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)
議第104号	令和2年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)	議第121号	令和元年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)
議第105号	令和2年度別府市競輪事業特別会計補正予算（第1号）		議第122号	令和元年度別府市水道事業会計決算の認定について	
議第106号	令和2年度別府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		議第123号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて（菅 雅幸）	同意 (全会一致)
議第107号	令和2年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		議第124号	別府市固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて（鈴木 義弘）	
議第108号	別府市出張所設置条例の一部改正について		議第125号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて（高尾 加代子）	
議第109号	別府市手数料条例の一部改正について	議第126号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて（安達 美和子）		
議第110号	別府市公民館条例等の一部を改正する条例の一部改正について	議第127号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて（伊藤 貞之）		
議第111号	別府市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)	議第128号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて（河野 重義）	報告
議第112号	別府市指定居宅介護支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について		議第129号	別府市職員懲戒審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて（末田 信也）	
議第113号	動産の取得について	認定 (賛成多数)	議員提出議案第5号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	原案可決 (全会一致)
議第114号	令和元年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について		議員提出議案第6号	コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書	
議第115号	令和元年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		議員提出議案第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書	
議第116号	令和元年度別府市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)	報告第8号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率について	報告
議第117号	令和元年度別府市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について		報告第9号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率について	
議第118号	令和元年度別府市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		報告第10号	市長専決処分について	
議第119号	令和元年度別府市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について		議員派遣		原案可決 (全会一致)

## 賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																								
			自民党議員団 12人												公明党 4人		自民新国会 3人		市民クラブ 3人		日本共産党議員団 2人		行財政改革 1人				
			首藤 正	河野 数則	野口 哲男	松川 峰生	黒木 愛一郎	萩野 忠好	松川 章三	安部 一郎	手束 貴裕	阿部 真一	日名子 敦子	榊田 貢	堀本 博行	市原 隆生	荒金 卓雄	穴井 宏二	山本 一成	森 大輔	小野 正明	加藤 信康	森山 義治	三重 忠昭	平野 文活	美馬 恭子	泉 武弘
議第103号	令和2年度別府市一般会計補正予算（第6号）	可決(多数)	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第108号	別府市出張所設置条例の一部改正について	可決(多数)	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第114号	令和元年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○
議第115号	令和元年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○
議第120号	令和元年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」（採決に加わらない為）、法律により採決に加われない議案は「除」

# 議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和2年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、3名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 別府市指定居宅介護支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

**問** 今回の改正の趣旨と、市内の居宅介護支援事業所への対応は。

**答** 居宅介護支援事業所の管理者は、平成30年の法改正により「主任介護支援専門員」でなければならぬとされましたが、同時に経過措置として一定期間の間「介護支援専門員（ケアマネージャー）」を管理者とすることができるとされました。しかし、主任介護支援専門員の資格を取得するための実務経験が不足している管理者が多いという背景から、経過措置が6年延長されたものです。

現在、市内には居宅介護支援事業所が47事業所あり

ますが、主任介護支援専門員の急な退職や公募しても採用に至らなかった場合は理由書の提出を求め、内容を確認した上で、利用者保護の観点から、管理者の要件の緩和を認めています。

## 動産（児童生徒用タブレット）の取得について

**問** GIGAスクール構想を推進するためには、インシャルコストだけでなく、ランニングコストについても国が責任を持つべきだと考えるが。

**答** 今年度の補正予算により市単独費による教師用タブレットの購入費、国の補助による児童生徒用タブレットの購入費等を予算計上し、教育環境のICT化に向けて準備を進めています。故障、破損や紛失、児童生徒の増加による追加タブレットの購

入費、保守点検などのランニングコストに対する補助制度や交付税などの財政措置について、現在のところ国の方針等示されておりません。今後も国の動向など情報収集に努めてまいります。また、タブレット端末等の保守点検に関するパッケージや故障、破損や紛失時に適用できる保険などを調査検討し、財政負担の軽減、保護者の負担軽減を図りたいと考えております。

## 別府市出張所設置条例の一部改正について

**問** 朝日出張所の移転により、通学路となっている朝日大平山地区公民館前の道路の交通量が増加すると考えられるが、児童生徒への安全対策は。

**答** 朝日大平山地区公民館までの経路は、狭く危険性があることは認識しておりますので、地域住民や児童生徒の安全確保については、関係部署と協議し、交通安全対策を進めていきます。また周辺の小中学校校長には、出張所移転後、児童生徒に対し、さらなる安全な通学指導をお願いしています。

# 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

各常任委員会に付託された、全ての議案について、賛成多数で、原案のとおり可決（承認）すべきものと決定しました。

### ●総務企画消防委員会

高齢者を対象とした特殊詐欺等の被害防止を図るため、特殊詐欺等防止機能付き電話機等を購入した方々への防犯対策電話機等購入費補助100万円を追加額として計上するとの説明がありました。

委員より、申し込みの条件等について質疑があり、市内に住居を有する65歳以上の者のみで構成される世帯を補助対象とし、補助金額は購入設置費用の3分の2まで、その上限は1万円とするとの説明がありました。

### ●観光建設水道委員会

10月1日から竹細工伝統産業会館が指定管理者による管理運営に変更されることに伴い、当該施設の指定

管理料を追加計上し、また光熱水費等については減額補正しているとの説明がありました。

委員からの、指定管理者制度導入により得られる利点等についての質疑に対し、指定管理者が行う様々な創意工夫等により、竹細工の振興及び発展に繋がることであると答弁がありました。

### ●厚生環境教育委員会

児童生徒1人に1台学習用のタブレットを買い入れることについて、議会の議決を求めるものであるとの説明がありました。委員からの、コロナ禍で故障等に対応する相談窓口の人員が減少していることへの対策についての質疑に対し、当局から、事業者による優先的な対応が保障されているものの、各学校のICT担当教職員が技術を習得し対応することも必要になってくるとの答弁がありました。

# 予算決算特別委員会 (令和元年度決算認定審査)意見書

予算審議と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、次年度の当初予算編成に反映するよう、意見書を執行部に提出しました。

9月9日に執行部の全体説明を受けた後に、委員5名による総括審査を実施。また、9月10日には、委員4名による個別審査を実施し、9月14日に採決を行いました。

審査の結果、一部委員から反対の意思表示がなされましたが、全議案について認定すべきものと決定いたしました。

また、今年も昨年と同様、委員会としての意見書を次のとおり執行部に提出しました。



## 1 持続可能な財政運営

実質収支、実質単年度収支とも前年度と比較すると増加しているが、4年連続で赤字となっている。経常収支比率は0.1%改善しているが、依然として義務的経費の比率が高く硬直化している。

新型コロナウイルス感染症の影響も今後さらに懸念されるなか、持続可能な財政運営を図るため、あらゆる対策を講じ、歳入歳出の改善に取り組み、実質収支の年度間の平準化及び実質単年度収支の黒字化に努めること。

## 2 効果の検証

ここ5年間で委託料が増加しているが、委託業務が

恒常化しており、業務を委託する効果が感じられない事業が見受けられる。特に、市営住宅管理委託料においては、費用対効果の検証が必要と思われる。

業務委託や指定管理者制度については、事前に調査・研究を行い、委託後は確実に評価・検証を実施することで、費用対効果をしつかりと見極め、漫然と発注することなく、効果が希薄な場合は委託の見直しも含め検討し、「市民サービスの向上」と「経費の削減」を図ること。

## 3 補助金の必要性の検証

各種団体に対する補助金、特に団体運営費補助金は補助金額も大きく、コロナ禍において、その公平性には、より一層厳しい目が向けられている。

補助金交付に対する公益性と透明性を今まで以上に高めることが必要であり、その費用対効果、成果及び交付の必要性を十分に精査検証し、適正な予算計上及び予算執行を図ること。

## 4 ひとまもり・おでかけ支援事業について

高齢者の買い物や通院など、日常生活における移動手段の確保は非常に重要な問題であり、福祉サービスあり方検討委員会では、「拡充の方向で見直しが肝要と思われるが、別府市全体の移動施策を踏まえて総合的に議論する必要がある」とされている。

別府市全体の移動施策の検討を進めるとともに、バス回数券購入費助成事業においては、利用者からの要望を尊重し、キャッシュレス時代に即したICカードへの移行等、利用促進及び利便性の向上につながる改善策を講じること。

## 5 次年度(令和3年度)の予算編成等について

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、税収の大幅減収や基金の取り崩しが見込まれる。当初予算編成においては、生活のあり方が変わる大きな転換点であることを

認識し、市民の生活と健康及び経済活動を支える感染症対策を最優先と考え、事務事業の精査・縮小を検討するとともに、財源確保に努め、慎重な財政運営を心掛けること。

また、本意見書及び委員会での意見を令和3年度の当初予算編成に反映することを要望するとともに、令和3年予算決算特別委員会(令和2年度決算認定審査)において、その取り組みについての回答を求める。





# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。9月議会では14名の議員が市当局の見解をただしました。主な内容は次のとおりです。

## 暗所視支援眼鏡について

公明党

穴井 宏二 議員



**問** 6月の市議会定例会でも質問したが、網膜色素変性症という進行性の難病の方のために、暗所視支援眼鏡が開発されている。夜盲や視野狭窄の方は、眼鏡を装着することにより、日常生活の利便性を向上することができると、県下の他の市町村では、日常生活用具給付事業の対象となつている事例もある。利用者からは、夜間でも安心して出かけられるようになったとの喜びの声も聞かれることから、別府市でも給付の対象とし、

日常生活が安心して送れるように助けていただきたいがどうか。

**答** 進行性の難病である網膜色素変性症は、その進行の速さ、また、夜盲や視野狭窄など症状の組み合わせに個人差があることを考えますと、安全性や実用性の確認を行う必要があります。障害者総合支援法に定める日常生活用具購入費支給事業の対象として、品目に加えることは、市町村の判断により行えますが、その拡充にあたっては、対象者の利用ニーズや他の市町村の状況等を踏まえて総合的に検討してまいります。

**問** 網膜色素変性症は現時点では有効な治療法はないといわれているため、日常生活への支援が必要である。別府市としても率先して日常生活用具

として給付をしてはどうか。

**答** 障がいをお持ちの方の日常生活上の困難を改善し、自立を支援し、社会参加の促進を図るためにも日常生活用具の利用は必要であると考えております。暗所視支援眼鏡につきましては、早急に他都市の状況や当事者の団体である大分県網膜色素変性症協会を通じて利用者ニーズ等の状況を確認してまいります。

## 土地売り払い、貸付について

自民党議員団

安部 一郎 議員



**問** 別府市財産活用基本方針では、市有財産の売却について、面談記録や協議録などを整備し、売却の意思決定がなされるまでの公正性や透明性を確保するところがあるがどのように考えているか。

**答** 全ての協議内容を記録することは難しいものの、公正性や透明性を確保するため、折々の会議等について一定程度の記録を残していく必要があると考えています。

平成30年5月に作られたこの基本方針に書かれている内容を不問にするという事が、市民の関心の高いものや、議会に諮る案件については必ず残し、議会や市民に説明ができる体制をつくってほしい。

**問** 重要案件は担当財政部長で判断し政策調整会議で決めることがあるが会議にける基準はあるか。

**答** 事案により状況が異なり、その時々で判断することになりますので一律の基準というものはありません。

議会に諮るもの市民の関心の高いものは、政策調整会議や有識者会議にかけて会議録を公開し、論議の過程を公表すべきだ。政治判断から先に入ると行政判断が歪み法的判断を誤る。目の前の事案、市民の要望を法的に判断し、そ

れを基に行政判断を行い、最後に政治判断をしてほしい。

## 今後の避難所運営について

日本共産党議員団

美馬 恭子 議員



**問** コロナ禍の中での自然災害、地震などが起きた場合の避難所の対応についてはどのようになっているか。

**答** 別府市では6月に「新型コロナウイルス感染症の脅威下における避難所運営の手引き」を作成、担当職員研修を実施し、避難所運営における3密の回避、衛

生対策の徹底、症状による避難者の区分及び区分に応じた避難スペースの振り分けを行い、避難所における感染症対策を行っています。

**問** 特に要配慮者等については、避難行動計画の作成が重要だと思われるが、行動計画の作成状況はどのようになっているか。また、別府市ではインクルーシブ防災事業に取り組んでおり、全国から別府モデルと言われる個別避難計画を作成しているということだが、どのようなものか。

**答** 内閣府より示された避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針より、要配慮者等の名簿作成、個別計画の作成を遂行しています。別府市のインクルーシブ防災は「災害時の要配慮者を地域で守る仕組みをつくり、障がい者等のインクルーシブ防災の実現」を目的に「みんなが助かる」のための防災の仕組みづくりを目指して、別府市と「福祉フォーラムin別府 杵速見実行委員会」の協働のもとに関係機関を含めた要配慮者の個別避難計画の作成に取り組むものです。

公民館WiFi設置・民間企業との連携について

自民党議員団

榊田 貢 議員



**問** 会議場を選ぶ場合、WiFiが使えるビルコンプラザは使用料金が高いため、大分市のホルトホールを利用する人が多いと聞いている。そのため市内で会議が開催されていないのが現状である。ネットワーク社会の中、気軽に公民館で会議ができるシステムがあれば、防災の時に非常に役立つと思うがどう考えるか。

**答** 地域の拠点として、地区公民館にWiFi環境は必要であり、避難所としての防災面やスマートフォン・タブレット等を活用した学習面などコロナ禍において、その必要性は、更に高まっています。地区公民館へのWiFi整備については、関係部署と協議しながら計画的に進めていきます。

いと考えています。

**問** 緊急雇用について今後民間企業と連携をとった雇用形態を考えたらどうか。

**答** 新型コロナウイルスの影響により、日々変化する不安定な経済状況の中では、幅広い分野の事業所が大きな打撃を受けています。しかし事業所によっては、部分的な人手不足が発生しているところもあるかと思えます。緊急雇用の応募はある程度落ち着いている状況ではありますが、本事業は緊急対策として実施しており、民間で雇用できる部分は民間でしていただくことが正常な形であり望ましいと考えていますので、今後、経済産業部とも連携しながら緊急雇用のありかたを考えてまいります。



コロナ感染症対策について

自民党議員団

松川 峰生 議員



**問** コロナ感染症で、観光関連業には甚大な影響がでている。一部では、7月にコロナウイルス感染の峠を越えたと言われているが、現状まだまだ飲食店等は厳しい営業が強いられており、廃業、休業を余儀なくされている店舗の情報も入ってきている。厳しい状況の中でも、飲食店に特化した、別府エール食うぼん券を発行し飲食店の活性化に寄与している。そのようななか、経済の循環に協力いただいている市職員もいるが、市の職員は給与に影響もないため、こういう時こそ街に出て、少しでも経済を循環させてはどうかと思うが、経済産業部長の考えを伺いたい。

**答** 本市の飲食店等は、観光産業の基幹をなす産業であり、また従事する方々も

多く、賃料等補助や新型コロナウイルス感染症予防対策事業費補助、エール食うぼん券の発行など、経営の持続化に向けた支援を行っているところであり、他方、飲食店等に対しては、お客様がお店で美味しく飲食していただくことが何よりの支援となります。市民が感染症予防対策のルールを守り、また飲食店も感染症対策を十分に行い、家族での外食や仲間同士での会食にかけ、飲食店が早く元気になることが重要であります。経済産業の担当部長として、市職員に対しても、積極的に外食や会食などで、市内の飲食店を元気にしていただくよう働きかけを行ってまいります。



マイナンバーカードの普及促進について

公明党

荒金 卓雄 議員



別府市内のマイナンバーカードの普及率は。

令和2年7月末で、交付者は18,069人、交付率は約16%です。年齢別には、20歳未満は1,086人(6%)、20-39歳は2,932人(16.2%)、40-59歳は4,209人(23.3%)、60歳以上が9,842人(54.5%)です。

市民にとって同カードを持つ便利さは。

顔写真付きなので、本人確認に利用できます。また、児童手当の現況届提出や保育所の入所申請について、オンライン申請が可能です。

カードの盗難や紛失、マ

イナンバー(個人番号)が漏れた場合に悪用される不安感がある。安全性に関する対策はどうか。

個人番号を使用する手

続きには、対面での本人確認が必要です。顔写真付きなので、他人が悪用するのは困難です。また、パソコンやスマートフォンでの使用には、暗証番号が必要で、異なる暗証番号を何回も入力するとカード使用がロックされます。カード自体にはプライバシー性の高い本人の税や年金などの情報は、記録されていません。

カードの普及促進とキャッシュレス決済の拡大を目的とした、マイナポイント事業が9月にスタートした。市の取り組みは？

パソコンやスマートフォンでの手続きに必要な環境を整わない場合において、手続き支援を行う特設窓口を市役所内に開設しました。令和3年3月末まで開設していますので、多くの市民の皆様にご案内をいただきたいと思います。

新しい学校給食施設の計画について

日本共産党議員団

平野 文活 議員



食中毒発生時の対応策は。

調理を停止し簡易給食で対応します。

共同調理場方式では被害が全校に及ぶ欠陥がある。また調理完了から喫食までの時間が1時間から1時間50分という計画だが、配送に時間がかかるという欠陥もあるのでは。

全校に広がらぬよう複数献立でリスクを分散します。また、二重食缶の活用と配送ルート工夫により2時間以内の喫食を遵守します。

アレルギー対応の保護者との連携については、現在は学校内でできているが、共同調理場では連携が取りにくく

なるのではないか。

専任職員を配置し連携を取ります。

建設予定地(元温泉プール跡地)は土砂災害警戒区域に指定されている。災害の際はどうするのか。

警戒レベルに応じて臨時休校等に対応します。

今の強化磁器食器はPTAが何年も運動して実現したと聞いている。いきなり樹脂製食器に変えるのは、かつての保護者の努力を無にすることに。変更の経緯は？

校長やPTA代表等からなる学校給食・食育推進等検討委員会での意見や感想等を参考に基本計画に整理しています。

事前説明資料で建設費は35億円だったが、計画書では炊飯施設込みで39億円となっている。後出しの許されない手口であり再審議すべきだ。

米飯給食を安定供給するため、県給食会等と米飯機能導入の可能性を検討中

です。導入する場合は39億円になります。

日本一おいしい給食をめざすと言うが、炊き立てを食べられる自炊式が一番おいしいのではないか。

「日本二」は将来にわたる政策目標であり、心にも体にもおいしい給食をめざします。

新型コロナウイルス対応

公明党

市原 隆生 議員



テレビなどで、新型コロナウイルスに感染した方が謝罪している場面をよく見かける。「治療する間、仕事を休んで申し訳ない」との思いもあるのだろうが、感染してしまったこと自体が悪いことのような印象を与えている。また別府市内でも感染した方々に対する誹謗中傷による差別



も実際に起こっている。ウイルスこそが悪であって、感染者を非難するべきではない。ウイルスを正しく恐れることが重要で、今後、経済活動を停滞させないためにも、また感染者自身が差別の対象にならないようにするためにも啓発をしてもらいたい。

**答** 新型コロナウイルス感染症に関して、誹謗・中傷や根拠のない差別につながるような行動は、決して許されるものではありません。このような人権差別を抑止するためには正しい情報を取得し理解することが重要であると考え、別府市ホームページ等に「新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮」についてのメッセージを掲載しています。また、別府市人権問題啓発推進委員会との連名で「STOP! コロナ差別」ポスターを作成し、市内公共施設・各種団体・事業所・医療機関・公共交通機関等に掲示の協力を求めました。

一日も早く、人の交流が盛んになり、活気が戻ってくるように、正確な数字の推移や、

正しい対策方法等の情報提供をお願いする。

**ワーケーションの推進・街路樹の維持管理について**

自民新国会

小野 正明 議員



**問** 最近全国の自治体で取り組みが始まったワーケーションを別府市も積極的に推進すべきではないか。

**答** テレワーク等、会社に行かずとも仕事ができるスタイルが全国的にも定着しつつあります。温泉や多くの地域資源に恵まれた別府はワーケーションに最適な土地であり、ホテル旅館等と協力しながら積極的に別府の魅力を生かしてまいります。また、企業誘致も進めて移住者を増やすと同時に市内在住の学生の卒業後の採用にも繋げ、最終目的である

別府市の人口減少抑制になるようにBIBLIZLINKとも連携して取り組みさせていただきます。

※ワーケーション「ワーク（労働）」と「バケーション」（休暇）を組み合わせた造語

**問** 市内の街路樹は古い樹木が多く、枯れたり、既になくなっていく箇所も目につく。また、強風時の倒木も心配される。計画的に植え替え等はないのか。

**答** 今のところ、計画的には行っておりません。また、まったエリアで安全上の問題等があれば植え替えも必要と考えています。

**問** 道路の歩道部分の、管理が比較的簡単と思われる丈の低い街路樹や植樹帯等の個所を近隣の自治会等民間の力を借りて維持管理をお願いすることはできないか。

**答** 官民連携して街路樹を含む道路の景観の向上や、まちづくりができるのはよいことだと思えます。公園の愛護会や道路の里親制度

の延長として調査してまいります。

**高次脳機能障害について**

公明党

堀本 博行 議員



**問** ケガや病気により、脳に損傷を負うと、高次脳機能障害を発症する場合がありますが、その障がいほどのようなものか。

**答** 高次脳機能障害は、脳卒中や交通事故等などによる脳の損傷が原因で、脳の機能のうち、言語や記憶、注意、情緒といった認知機能に起こる障がいのことです。注意が散漫になる、怒りっぽくなる、記憶力が悪くなる、段取りが悪くなる等の症状が出現します。これらの症状により、日常生活または社会生活に制約がある状態が高次脳機能障害と言われるています。

**問** 高次脳機能障害についての認知度はまだまだ低く、理解が足りないため、当事者への支援が弱く感じるが、支援策にはどのようなものがあるのか

**答** 高次脳機能障害の診断は、その原因となったケガや病気の急性期症状を脱した後には診断され、病状が見からは分かりにくいいため周囲の理解が得られにくいという特徴があります。このような状況にある方は神経内科や心療内科、または高次脳機能障害支援拠点病院による専門的な相談支援を受けることが様々な支援の入り口となります。高次脳機能障害は、記憶力の低下、注意力の低下、感情や行動の抑えが利かなくなる等の認知障害を主たる要因として、日常生活及び社会生活への適応に困難を有しますので、支援策としては、障がいの程度による障害者手帳の交付や医療費の助成、また障害者総合支援法による生活支援等のサービスを提供を行っております。

病児、児童保育について

自民党議員団

手束 貴裕 議員



問 病児保育とはどのようなもので、どのような時に利用する施設か。

答 保護者が勤務等により、病気の子どもを家庭で保育することが困難な場合、小学校6年生までの児童を医療機関に併設された専用施設で保育士や看護師が一時的に保育及び看護を行うものです。

問 コロナ禍において昨年と比べ利用状況はどのようになっているか。

答 令和元年度の利用者数と比較しますと、今年度の利用者数は3割程度の利用です。

問 今後インフルエンザの流行期を迎えるが、新型コロナ

ウィルスの流行と重なった場合、施設などではどのような対応になるか。

答 現時点で、インフルエンザの流行の傾向は予想困難ですが、流行期が重なった場合、関係機関と協議・連携を図り万全の態勢で対応してまいります。

問 放課後児童クラブの待機児童の状況はどのようになっているか。

答 市全体では総定員数より登録児童者数が下回っています。校区によっては年度当初は待機児童が発生していますが、その後は解消されています。

問 新型コロナ対策として、今後各クラブが率先して備蓄品を備えておくべきだと考えが市の見解は。

答 クラブごとに自前で備蓄品を用意しておくことは重要です。国の補助事業を活用して備えていただくよう各クラブにお願いしてまいります。



新調理場整備基本計画・定員適正化計画について

市民クラブ

加藤 信康 議員



問 基本計画の思いがすべて達成できれば、他に類のない食育を行う別府モデルとなる。本気で食育を進めていくなら、現場に携わる職員を育てていくことが大事だが、どう考えているか。

答 各学校では「食に関する指導の全体計画」を作成し、各学校のリーダーシップの下、栄養教諭と学級担任が連携して取り組み、実践します。教育委員会は栄養教諭等が子ども達と直接ふれあい、献立や味などについて感想や意見を聞く事ができる体制を整備します。さらに子ども達や保護者、地域の方が「学べる調理場」として、調理場見学や試食会などを行い、食育を推進していきます。

問 現在の定員適正化計画では市の職員数は既に目標達成し、通り越している。どう総括しているのか。

答 現状、正規職員を削減した一方で、再任用職員や会計年度任用職員などの正規職員以外の職員が増加しており、全体として定員適正化計画に合わせた業務量の削減ができていません。また、地方自治体の業務がさらに増加、複雑化していることもあり、職員体制にも余裕がなくなっています。

問 正規職員だけでなく、再任用、任期付き、会計年度、その他の職員も含めた定員管理をする計画策定が必要ではないか。

答 第2次定員適正化計画の前提となっていた別府市の業務内容や職員の任用形態が現在までに大きく変化し、様々な整理すべき問題も生じてきています。人件費は市全体の予算に占める割合も大きいいため、すべての任用形態の職員の総人件費を考慮したうえで、今後の職員配置を行ってまいります。可能な限り将来を見据

えた問題の整理や職員体制の構築に力を注いでいきます。

どうする、孤独死・認知症・寝たきり

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員



問 2018年、全国の孤独死は26,821人となっているが、市の状況は。

答 令和元年は148人となっています。

問 認知症患者は2012年462万人、2025年の推計は730万人である。高齢者5人に1人が認知症になる推計だが市の現状は。

答 5,121人となっています。





**問** 女性の平均寿命87・32歳、健康寿命74・21歳、男性は平均寿命81・25歳、健康寿命71・49歳である。健康な人を除けば、11年近く介護を必要としている。市の寝たきりの数は。

**答** 寝たきり高齢者は278人、認知症で寝たきりは、2,063人です。

**問** 認知症や孤独死の二因は孤立や孤独と言われている。旧羽室台高校（敷地面積約15,000坪、46教室、体育館、運動場約8,000坪）を活用して、高齢者・障がい者等の交流広場にできないか。体育館は、高齢者や障がい者の健康づくり、運動場は各種スポーツ、外周は子供のサイクリング道路やマウンテンバイク、動物ふれあい広場、教室は、俳句、パソコン、囲碁、将棋等各種の教室として、また、災害時の拠点施設として活用できないか。

**答** 旧羽室台高校の活用につきましては、公共施設マネジメント上、財政負担等も踏まえながら、本市が抱えている諸課題解決に向け、有効活用できるように県と交

渉したいと考えています。

**公共施設（公民館・体育施設）の予約方法について**

自民党議員団

日名子 敦子 議員



**問** 公民館（公会堂）の予約方法の現状と問題点は。

**答** 公会堂では大ホールの予約が6か月前、その他の会議室が3か月前からの予約となり、大ホールのみインターネットでの予約システムの受付は行っていない。なお、大ホール以外の会議室につきましては、現在のところ、予約時に感染症対策に関する十分な説明が必要なことから予約システムでの受付を一時中止しています。窓口での予約が開始される毎月1日には、早朝から受付開始を長時間並ばれて待たれているのが現状です。

**問** 現在の予約方法が利用者にとつて支障になっていると思われるが、改善できないか。

**答** 予約の抽選制やインターネット予約等、改善につきましては、利用者の公平性の観点から、今後検討を重ねてまいります。

**問** 体育施設（公園テニスコート）の予約方法の現状と問題点は。

**答** 多くの体育施設でインターネットでの「おおいた公共施設案内・予約システム」が利用可能ですが、公園テニスコートではこの予約システムを導入していません。特定の方の利用が目立つことや、待ち時間が長い等の声も寄せられています。

**問** 電話予約等も出来ず、テニスコートに行ってもすぐに利用できない、との声が聞かれますが、今後、改善は可能か。

**答** 利用者の皆さんに満足していただける施設となるよう、指定管理者と協議しながら、予約方法の見直しや改善に引き続き取り組んでまいります。

**請願・陳情**

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に對し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。か、議会事務局までお問合せください。

なお、令和2年第4回定例会の請願の受付期限は11月19日（木）17時までです。

**令和2年第4回 市議会定例会会期日程** (予定)

11月30日 議案上程  
12月3日 議案質疑

4日 委員会付託  
審査  
8～11日

15日 一般質問  
委員長報告、  
討論、表決

※日程は変更することがあります。

**傍聴のご案内**

9月定例会では新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴にお越しの方に以下のお願いをしました。

- ・アルコール消毒液の利用（傍聴受付に設置）
- ・検温の実施（傍聴受付にて実施）
- ・マスクの着用（必須）
- ・連絡先（電話番号）の記入
- ・体調のすぐれない方に、傍聴をお控えくださるお願い

また、傍聴席は密を防ぐため、間隔をあけ、定員を31席としました。

12月定例会の傍聴を希望される方は、事前に市議会ホームページ「傍聴に関するお知らせ」をご確認してください。

## 令和2年7月豪雨災害に 対する義援金を送りました

この度の令和2年7月豪雨による災害により、お亡くなりになられた方々に対して、衷心よりお悔やみ申し上げます。今回の豪雨により甚大な被害を受けました日田市及び由布市に対し、被災者支援に役立てていただくため、義援金として、議員互助会より、それぞれ10万円を送ることを決定しました。一日も早い被災地の復旧を心よりお祈り申し上げます。



日田市議会



由布市議会

松川議長から日田市議会の石橋議長と由布市議会の佐藤議長に義援金を手渡しました

## 議場にて 訓練を実施



防災の日（9月1日）にあわせて、防災意識の向上及び被害の軽減を図ることを目的に、防災訓練を実施しました。災害発生時には、自ら身の安全を守る「自助」、地域住民がお互いに助け合う「共助」及び行政による「公助」の3者が連携し、災害に強い社会の構築が必要です。

## 本会議を 中継して います



別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行います。

### 放送日時

本会議開催日（午前10時から）

### 放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

### 放送メディア

●ケーブルテレビでの中継  
CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

●インターネットでの中継  
別府市議会ホームページ  
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/> にアクセスしてお入りください。

（また、全日程終了後、概ね1週間後から約1年間録画中継を放映しています。）

※議会中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。

## 編集後記



秋の運動会シーズンが終わり、コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小しての開催となりましたが、子どもたちの頑張っている姿を拝見し、久しぶりに清々しい気分になりました。

さて、今定例議会では、次年度の当初予算に議会の意見を反映させることを目的に予算決算特別委員会において、決算認定審査を行い、意見を付して可決致しました。今後、コロナ禍による大幅な税収の落ち込みにより、厳しい財政運営が想定されますが、議会としては市民福祉の向上、安心安全なまちづくりに必要な施策には影響が出ないように、予算の無駄を省き効果的な執行を行うよう、チェック機関としての役割を果たしてまいります。

今年度はコロナ対策のため、「市民と議会との対話集会」を開催することができませんので、広報広聴委員会としましては、議会だよりを通して議員活動を市民の皆さまにわかりやすくお伝えしたいと思っています。そのため、誌面の見直しも進めていきますので、次号からの「議会だより」にご期待ください。

今後とも市民の皆さまのご理解を賜り、ご意見を頂きますようお願い申し上げます。

広報広聴委員会

委員 小野 正明